

所属・氏名（ 健康科学部 医療栄養学科 氏名：木村 留美 ）

| 著書、学術論文等の名称 |                                                                 | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌<br>等又は発表学会等<br>の名称      | 概 要                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------|----------------|---------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1           | (学術論文)<br>パンとの組み合わせが低塩分濃度のスープの塩味の嗜好性に及ぼす影響                      | 共著             | 2021 年 7 月    | 日本家政学会誌, Vol72, No7, p.1～p.6     | 我が国の食事様式では、飯の代わりにパンが組み合わせられた場合でもパンとスープ、おかずが交互に食べられる。本研究では、0.4～0.9%の低塩分濃度のスープにパンを組み合わせた時のスープの塩味の嗜好性(好ましさ、許容性)を検討した。スープの塩味はパンを組み合わせた場合は、パンの塩味への順応や、パンによる後味の除去などにより、低塩分濃度のスープの嗜好性が低くなると考えられた。(当該論文のページ数: 6 頁)(当該論文の著者名: 戸松美紀子, 野村希代子, 木村 留美, 杉山 寿美)担当部分の概要: 論文執筆, 責任著者 |
| 2           | (学術論文)<br>「からだ想い弁当」提供による若年層の食意識変容と生活経済的環境について～沖縄県と広島県の事例～《筆頭論文》 | 共著             | 2021 年 4 月    | 地域研究, No26, p.1～p.11             | 「からだ想い弁当」提供による、若年層の食意識変容への影響として、食意識、生活経済的環境の違いを調査した。健康弁当の提案で必要摂取量は理解出来たが、健康弁当の選択には、喫食の有無が影響した。食生活の満足度と弁当喫食の満足度には負の相関が認められ、家族構成により、弁当を選ぶ基準において価格が影響する傾向にあった。(当該論文のページ数: 11 頁)(当該論文の著者名: 木村留美, 逸見幾代, 山代寛)担当部分の概要: 研究計画, 実施, データ解析, 論文執筆                               |
| 3           | (学術論文)<br>昭和 50 年代前半の「栄養と料理」に掲載された夕食献立の献立構成と料理の特徴               | 共著             | 2021 年 3 月    | 日本家政学会誌, Vol72, No3, p.162～p.171 | 健康への有益性が示唆されている昭和 50 年代前半の食事に着目し、雑誌『栄養と料理』の夕食献立について献立構成および料理の特徴を検討した。献立構成によって、組み合わせられる料理が異なり、一汁三菜献立には白飯や魚介類、サラダ以外の和え物、煮物が多く組み合わせられていたことが明らかとなった。(当該論文のページ数: 10 頁)(当該論文の著者名: 森久 瞳, 木村留美, 杉山 寿美)担当部分の概要: 研究計画, データ解析, 責任著者                                            |
| 4           | (報告・発表)<br>「からだ想い弁当」によるコロナ禍における食意識様相について                        | 共同             | 2021 年 6 月    | 第 9 回日本食育学会学術大会(東京: 誌上開催)        | 「からだ想い弁当」が若年層の食意識にもたらす、生活経済的環境の影響の経年変化及び、コロナ禍における食意識様相を知ることを目的とした。前調査では家族形態に種々の影響が見られたが、コロナ禍では影響が顕著でなかった。(当該発表者名: 逸見幾代, 木村留美)担当部分の概要: 研究計画, 調査, データ解析, 発表                                                                                                           |
| 5           | (報告・発表)<br>調理学領域と給食経営管理領域の教科書に示された献立の特徴                         | 共同             | 2018 年 11 月   | 第 14 回給食経営管理学会学術総会(埼玉)           | 献立の「料理の組み合わせ」を明らかにするため、調理学、給食経営管理領域の教科書に記されている献立の特徴を解析した。料理様式は、給食経営管理領域の献立で、洋食献立や中華献立が少なく、折衷献立が多かった。一方、和食献立 1 食あたりの野菜量、食塩相当量は、調理学領域で野菜量が少なく、食塩相当量が多かった。この違いは、人の食事としての質の確保を、給食献立作成の際に留意する必要があることを示している。(当該発表者名: 木村留美, 森久瞳, 藤原久子, 戸松美紀子)担当部分の概要: 研究計画, 調査, データ解析, 発表  |